

「一方的な休日出勤」に抗議する！

会社は、平成20年度の新幹線乗務員の「休日出勤」について年間6泊（12日）になることを明らかにしています。これまで会社は「早期解消のスタンスに変わりはない」と言い続けていますが、現実と言っていることとやっていることがまったく違います。

さらに今年度もあとわずかととなりましたが、2月の大二運の乗務員の休日出勤は100名を超えており、一時会社は「年休を出しやすくするため」とも言ってましたが2月は年休の順番が1番でも発給されていない現状です。

このままでは、旅行や家族サービスで休みたいときに休むことが出来ないばかりか、休むときは病気にならないと休めないのではないかという話しになります。こんなバカな話しが冗談でなくまさに現実になろうとしているのです。

車掌行路での一丁半行路等、身体にきつい行路が続いている現状で、乗り組み時の一日だけの休みでは疲れが取れません。今日では「休みは二日ないと休んだ気がしない」のが本音ではないでしょうか。

さらに特休・特休と続いた休みが入るとまさに「本当の息抜き」が出来る思いです。会社は、この特休・特休の部分に6泊ですから乗り組み月に全て休日出勤を一方的に指定するという姿勢を示しているのです。

この原因は、会社も分かっているわけです。まさに要員の不足が招いている現状で、労働組合が今、声を上げなければ会社の姿勢はさらに強硬に効率化を進めてくるに違いありません。

私たちは改めて訴えます。「一方的な休日出勤」の解消！健康と安全を守るために要員を確保せよ！と。

まさに「命令と服従」「規律と忠誠心」の強要！ 社員への責任転嫁に抗議する！

2月12日、会社は、組合員を乗務終了後に呼び出し事情聴取を行った。2月6日に組合員が受けた退出点呼が「規定違反」になるとのことである。何をいわんやである！

2月6日、組合員は退出点呼時、次勤務である「2月14日、電話確認」を手帳に記入し確認した。しかし、当日担当した角野助役は、会社が一方的に指示した休日出勤の行路（2月11日、変426-1行路）の書き直しを強要した。組合員は、自分の休日（特休・特休）を主張しつつ当日の勤務認証を確認したが、角野助役は誠意ある回答を行わず、「業務指示違反」をちらつかせるだけで勤務認証を明らかにしなかった。

そして、角野助役は一方的に業務指示違反を通告し、手帳に捺印しないままその他のことはなんら問題とせず退出点呼を終了した。組合員はその後、何の問題もなく訓練を受けて職場を後にした。

また、2月11日、草崎助役は、変416-1行路を担当した当該組合員に添乗を行

った。草崎助役は1839Aの運転準備の作業中、指導添乗とはまったく関係のない、2月6日の勤務確認についての質問を行った。

組合員は、添乗とは関係ない内容であると抗議したが、草崎助役は「同じ管理者として業務に関することだから」として自らの行為を正当化しようとした。

これまで、労働委員会の場合でも添乗指導の目的について会社は「その知識・技能レベルを把握し必要に応じて適切な指導を行うというもの」とであると主張してきた。このことから言っても草崎助役が行った質問は添乗とはまったく関係のない内容であることが明らかである。休日出勤に反対して闘う私たちに対する攻撃であることは明らかである。そのために恣意的な添乗を利用しているに過ぎないのだ。

また2月12日、吉兼運転科長、坂根助役は、乗務終了した組合員を呼び出し2月6日の退出点呼について事情聴取を行った。その中で当日の提出点呼は終了していると言いつつ「行路が指定してあった」「乗務員として決められたことを守ってない」から「規定違反」として一方的に注意を通告してきた。

何が注意だ！当日の点呼は、自らの休日を主張する本人に何等誠意ある回答も勤務認証をも行わず、一方的に業務指示違反を通告しただけであった。管理者は「規定違反」とは一言も発していないのだ。ましてや、6名の管理者が本人を取り囲んで威圧し、異常な雰囲気意識して作り出し社員を悪者扱いをしたのは会社の方ではないか！6名の管理者も誰一人として「規定違反」とは言っていないのだ！

そのことが、超過勤務に協力して乗務し終わった社員に対する態度なのか！本人を呼び出し、会社の命令に服従させるためのまさに「後付け」の通告に断固抗議する！

当日の角野助役は、手帳に捺印せずに点呼を終了させている。何ら問題なく点呼が終了しているにも関わらず、点呼の問題を社員へ押し付ける会社の行為はまさに責任転嫁である。

さらに2月18日には「警告」として運転科長掲示が張り出された。内容からすれば2月6日の退出点呼の事柄だと察するが、知らない人が読めば何のことか分からない抽象的な掲示である。要は、「規律と忠誠心」をうたい文句に黙って従う社員作りを目的とした掲示であると見たほうがいいのでないだろうか！

私たちは、社員の健康と安全を脅かす「一方的な休日出勤」に抗議し、休日出勤の早期解消と適正な要員を求めるために闘っていきます。他労組の皆さんと共に言いたいことが言える真に風通しがよい職場を創るために共に闘いましょう！

以上

2008年2月20日

JR東海労大阪第二運輸所分会